

臨床の現場から

当院での 糖尿病診療

内科(糖尿病・内分泌)
新谷 哲司



「えいらい」をご覧の先生方、こんにちは。創刊号に寄稿させていただき関係者各位には大変感謝しております。昨年10月より当院にて糖尿病・内分泌領域を担当させていただいています。古くは吉野内先生から最近では村尾先生と、由緒ある当院の糖尿病診療を預かることになり大変恐縮しているところです。

担当が変わったこともあり糖尿病領域の診療にもいくつか変化が見られましたので、今回はその変更点について重点的にご報告いたします。

1. 糖尿病教育入院



昨年12月より完全リニューアルしました。2週間という期間はそのままですが、木曜日より教育講義を開始し、2週目の週末には試験外泊を取り入れることとしました。

これまで学んだことを退院前に自宅で実践する機会を作ることにより、問題点の把握を早期に行うことが可能となりました。また入院中には血糖や尿糖、体重を自己測定し記録していただき、血糖コントロールに対する意識づけを強く行うようにしました。従来のように医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士でチームをつくり、入院期間中にそれぞれの担当分野の講義を行っています。第2週の水曜日にはチームカンファレンスを行いお互いの情報を共有するように努めています。

なお、以前より専用の講義スペースがないことが問題となっていました。今年1月には個室を改装することによってレクチャールームが出来上がりました。

2. 糖尿病教室



今年3月より第1、3土曜日の10時より開催しています。仕事があり教育入院を行うことのできない方や、入院するほどでもない軽度の方を対象に実施しています。毎回、医師、栄養士、療養指導士(看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士)が交代で30分ずつの講義を行い、計6回の3か月間で糖尿病についての知識を網羅することができるようにプログラムを作成しています。すでに第2期生の講義が始まっており、そろそろ第3期生の受付を開始する準備をしています。参加の定員は15名となっています。

3. フットケア外来

内科外来の中村看護師を中心に今年2月より実施しています。足潰瘍、足趾・下肢切断の既往、閉塞性動脈硬化症、糖尿病性神経障害のある方を対象に外来でフットケアの指導をしています。内容としては、爪甲切除(陥入爪、肥厚爪、爪白癬)、角質除去、足浴、足のセルフケア方法の指導(足の状態の観察方法、足の清潔・爪切り)正しい靴の選択方法の指導となっています。すでに2か月先まで予約で一杯の状況ですが、足壊疽の予防のために入念な指導を行っています。



4. 松山市民糖尿病連携サークル

今年1月より隔月で開業医の先生方をお迎えして「松山市民糖尿病連携サークル」と称した情報交換の場を設けています。第1回目の際にはNHKの取材も入ったこともあり放送をご覧になって知られた方も多いのではないのでしょうか。当院と連携してくださっている開業医の先生や当院のスタッフの計40名余りが参加しています。3回に1回はコメディカル向けの内容としており糖尿病療養指導士の教育・育成にも役立てることができるといった企画を準備しています。

糖尿病の領域では病診連携の必要性が増してきています。そこで当院では、内科外来の診察室に病診連携マップを掲げています。診察室に入ってきた患者さんが連携先のクリニックや担当医の写真、場所などを一目で見て分かるようにしています。クリニックを紹介される際の患者さんの安心感がだいぶ違ってくるのではないかと考えています。



以上、変更点を中心に挙げてみました。糖尿病診療は医師だけでなく看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士を中心とした糖尿病チームで行っています。長期間にわたり当院の糖尿病診療を率いられてきた村尾先生のご指導のお陰もあり、当院には優秀な療養指導士が揃っており糖尿病チームのレベルが高く本当に助かっています。今後も引き続き「糖尿病合併症外来」や「糖尿病患者会」などの企画を考えています。これらを徐々に立ち上げていき地域の先生方や患者さんのお役に立つことのできる質の高い診療を行っていかうと考えています。

今後とも、糖尿病チームスタッフともどもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。